

町民の声内容（1月6日）

タイトル：地域おこし協力隊の活動内容等について

【内容】

地域おこし協力隊の紹介については、広報紙において一度紹介がありました。

その後「定住地はもとより本町の活性化」に頑張っていると思われませんが、我々住民には活動・活躍状況がほとんど把握できません。

総務省の資料を拝見すると「隊員がスムーズに活動できるよう、活動開始前や活動中における関係者間での取り組み方針の共有やバックアップに留意する。」とありますが（総務省資料による）次の5点についてお伺いいたします。

Q1：サポート体制の構築について平成28年度町側の具体的活動内容（具体的に隊員に対する対応）をお聞かせください。

Q2：隊員の活動状況をサイト・広報紙等でPRとありますが、我々住民には平成28年度の具体的活動状況（毎月）がほとんど見えません。

「本町の活性化に向け頑張っています」はいいのですが、住民は把握する術がありません。

「町職員」は全て把握（全職員一丸となり）されていますか。

なぜサイト・広報等にてPRしないのですか。

（町へ毎月活動状況報告となっています。隊員たちが可哀そうですね。）

Q3：任期終了後の隊員の定住・定着に向けた支援について平成27年度は7名で平成28年度は6名となっており「1名」任期終了となっていると思います。この情報は非公開ですか。

居住地以外の住民には関係のないとの事ですか。

3年間の活動成果及び町の活動評価そして今後は何処に定住・定着されて「活動・活性化」に向けて頑張っていらっしゃいますか。

（地域外の住民もバックアップに参加が必要では）

Q4：隊員の一部の方が実家の近所なので定住生活をされていない（実家に帰っている＜毎日ではないにしても＞のでは）と言う噂を聞きましたが如何ですか。

（サポート体制からどう対応しているのか）

Q5：2名の隊員が猟友会に所属していますが、基本的に其々会員の行動範囲が設定されている中での捕獲等の作業なのか理解できません。

猟友会の「仕事量は平準化」されていますか。

どこか「オーバーワーク」が発生していませんか。

喫茶ドントーレの店長が1月～4月迄鳥獣対策活動へ従事するので代理店長を立てるとの噂話をお客様から伺いました。町からの指示ですか。

猟友会の会員数が不足であれば会員増の対策を早急に講ずるのが自然と考えますが（隊員を活用するのが一番手っとり早い方法と誰でも安易に考えます楽ですから）如何ですか。

以上5点質問いたします。